



お客さんを待っているサモサ売りの少年



遅刻した生徒にその理由を尋ね、返答を待っている教務主任のヤスミン先生(右)

# 「待つ」



日雇いの仕事を得るために路上で待つ男性たち  
自分の仕事道具を見せて待ち続ける・・・

## フォトギャラリー

# انتظار کرنا

インテザール カルナー



アル・カイールアカデミーの先生の子ども  
母親の授業(仕事)が終わるのを待っている



クリケットをして遊ぶ少年 ボールを待つ～空振り



## 洗濯機

東葛センターに業務用洗濯機を設置しました。コインランドリーに置いてあるのと同じようなものです。乾燥機も一緒です。今まで、家庭用の洗濯機を3台使って洗っていました。雨が続き、商品の補充が間に合わないときにはコインランドリーにも行っていました。洗っているものはパキスタンから輸入した古着です。洗う理由として汚れているからというよりは、梱包されたシワを取ることや検品を兼ねた作業となります。

導入を考えた理由としては、主にその作業量の増加です。昨年度(2020年10月)が2021年9月)、2万2747点の輸入古着が柏店kapre(カブレ)で販売されました。1営業日当たり63点ほどです。前の年が1万2533点で1営業日当たり36点ほどだったため、77%増えたことになります。そのほぼ全てを洗濯しています。ちなみに千葉県の年間降水日数の平均は96日だそうです。多いよう気もしますが26%は雨のようです。そうすると晴れた日に売れた分の26%増しで洗濯をしないと間に合わない訳です。単純計算ですが、昨年度は晴れた日に少なくとも79点は洗濯していましたことになります。Tシャツやシャツなら良いんですが、ジャケットやパンツなどはなかなか大変です。

支援活動についても同様だと思います。現地にとつて必要なことを一緒に考えて、行動して結果を検証してまた次の行動を決めていきます。コロナ禍で現地を訪問することは出来ずになりますが、その分メールや通話など連絡を密にして、現状の確認を怠らないように取り組んでいます。

業務用洗濯機の導入についても、アル・カイール事業部の実務を行なつているカユーム氏に意見を求めました。少々商売つ気が強くなりすぎるよりも感じていたためです。それについて彼は、「イスラムで商売は、嘘、不誠実、利益の独占を禁じているが、仕事を作つて雇用を生みだすので強く推奨している。商売を大きくすることを支援をより大きくできるようになることを期待する」と言つていました。至極当然のこと改めて言つてもらえたような気がしました。支援活動の継続のために行なう連帯事業は、商売に含まれる負の側面についてしっかりと意識を持つて進めていきたいです。ただずいぶん難しいテーマなので、

こうした洗濯と販売の量は、今できることを考えて、実行してその結果が出てまた考へてを繰り返した結果です。増えていくことは商売として順調だということだと思います。それに合わせて環境も整えていく必要があります。

東葛センター担当事務局 田辺航太郎



「ジーンズ15本を60℃で60分…」少しづつ分かってきました！

## 7年ぶり

会報ではこれまで、年に2回開催していた「チャリティーバザール」の報告をしていました。しかし、コロナ禍となつて以降、開催ができずにいます。1998年12月に千葉センターを開設し、それ以来毎年12月にJFSA主催で行なつてきたお祭りがチャリティーバザールです。お餅つきをして近所の皆さんに振舞つたり、お店のセールやフリーマーケットを行なつていきました。開設当初は、まだ周辺で暮らす人々にセンターが知られていなかつたため、広報としての役割が大きくありました。その後、だんだんと地域に根付き、多くの方に存在を知つていただけるようになつてからは、地域の方が楽しむ場としてのお祭りに変化していきました。開催を待つて下さる方たちも増えて、2008年より、年1回だつた開催を2回にしました。

チャリティーバザールには、地域で活動する団体がたくさん参加しています。それぞれに、食べ物屋台を出したり、ワークショップをしたり、ステージでの演奏や演舞を行なつたりと、様々な形で地域の皆さんと一緒に楽しむ場を作っています。2011年から6年間ほど、バザールに出ていたフライドチキン屋さんがありました。彼は、JFSAで働いていたアルバイトスタッフでした。将来自分で飲食店



毎回チャリティーバザールの最後に締めとしておこなっている「縄引き」子どもも大人もとにかく力いっぱいふんばる

をやりたいという希望があり、他でもアルバイトを掛け持ちしながらお金を貯めていました。そして、お店を出す前段階として、イベントで販売をしたいという要望があり、チャリティーバザールで出店することになりました。

子どもが自分のお小遣いでも買えるように、一つ100円で販売をしていた揚げたてのフライドチキンは、味の改良など試行錯誤を繰り返し、回を重ねることにファンが増えて、行列ができる時もありました。2014年12月の出店の際に初めて開催時間内に完売できたそうです。

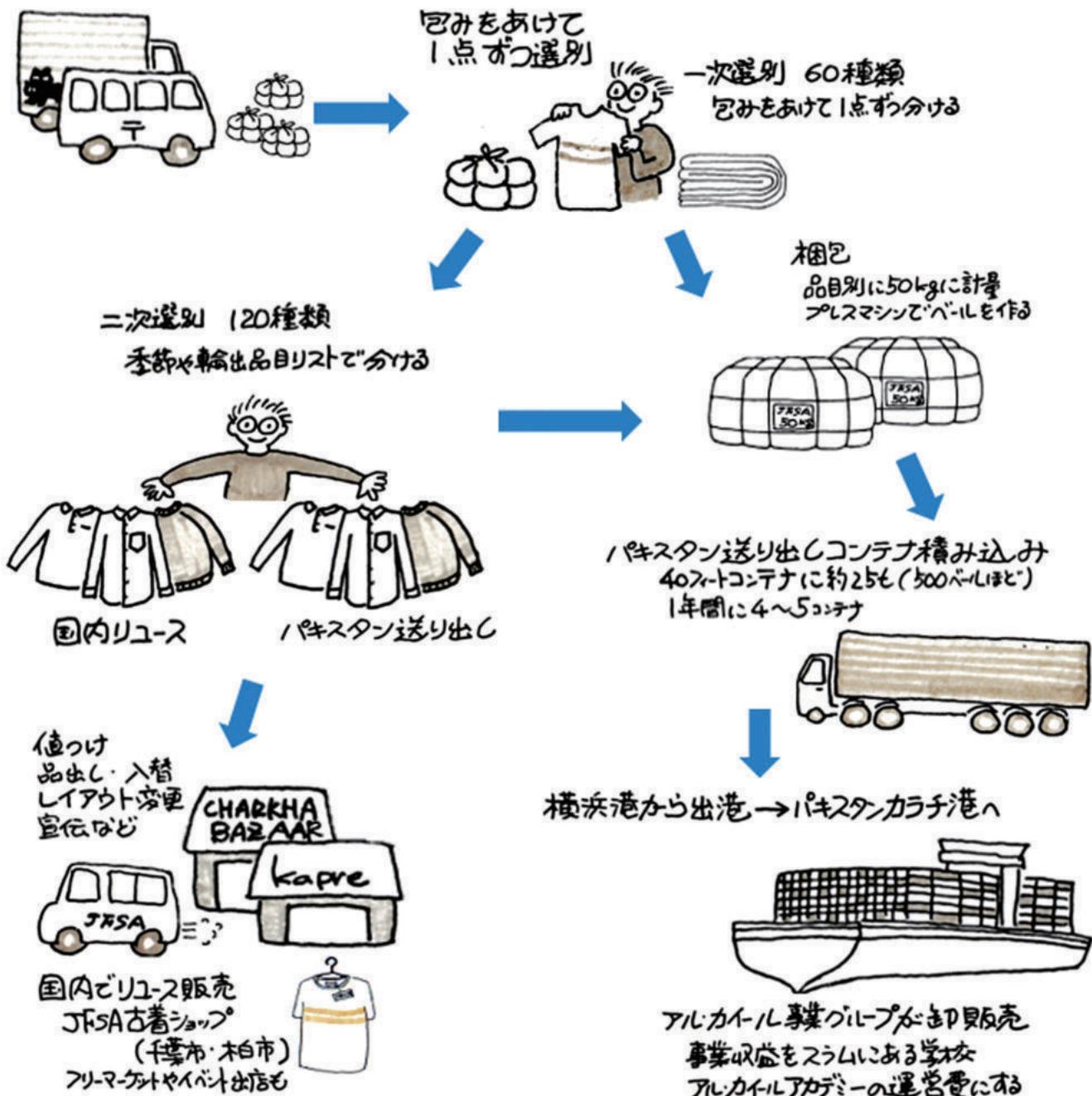
2018年5月に、彼は千葉駅近くにフライドチキン屋さんをオープンしました。この春で4周年です。JFSAスタッフもお店に行つたりテイクアウトで食べたりと、よく利用しています。彼の話では、お店を出した今でもあの時バザールで100円玉を握りしめて並んで買ひに来てくれる子もたちの姿が忘れらざり、お店の原点としてあるそうです。

コロナ禍でも、これまでと違う形となつても、趣旨は変わることのない「チャリティーバザール」を再開できる形を近いうちに見つけたいと考えています。

千葉センター担当事務局 大橋紀子

## J F S A での古着の選別とリユースの紹介

ていねいに使えば長い間使うことができるもの、暮らしの中にたくさんあります。今あるものを大事に使い、自分で使えないときは他の人の手に渡して使ってもらう、それを皆さんのが参加する事業として行ない、スラムの子どもたちが学ぶ機会につなげます。



### 2021年度（2021年10月～2022年9月）の正会員・支援メンバーを募集しています

NPO法人JFSAの会員は次の2種類です。

1. 会員（正会員） この法人の目的に賛同して入会した個人または団体
2. 支援メンバー この法人の目的に賛同し、賛助の意志を持つ個人または団体

会員・支援メンバーの方には、会報（年3回）、古着の回収のお知らせ（年3回）、サポートグッズ（年1回）をお送りします。  
正会員の方には総会議案書（年1回）もお届けします。

【2020年度 正会員 個人：166名・団体11 支援メンバー 個人：1257名・団体7】

●年会費（10月～翌年9月末）

個人：会員 5,000円 / 支援メンバー 2,000円

団体：会員 50,000円 / 支援メンバー 10,000円

●会費振込み口座（郵便振替）

番号：00160-7-444198 口座名：JFSA

\*活動への寄付にも同じ口座がご利用できます。

通信欄に「寄付」とお書き添え下さい

◆JFSAの会報のバックナンバーをご覗いただけます◆

ホームページのトップページ中央「JFSAのニュースレター（会報）」よりお進みください。ご希望の方には郵送もできます。

◆△会報についての感想やご意見をお気軽にお寄せください△◆

JFSAまでメール・お手紙でお送りください  
[jfsa@f3.dion.ne.jp](mailto:jfsa@f3.dion.ne.jp)



こちらのQRコードを読み取っていただくと、メール作成画面になります。